

CS1922M/CS1924M

RS-232 コマンド

日本語版ユーザーマニュアル



本ドキュメントについて

本書は ATEN ジャパン株式会社において、CS1922M/CS1924M RS-232 コマンド取り扱いの便宜を図るため、英語版ユーザーマニュアルをローカライズしたドキュメントです。

製品情報、仕様はソフトウェア・ハードウェアを含め、予告無く改変されることがあり、本日本語版ユーザーマニュアルの内容は、必ずしも最新の内容でない場合があります。また製品の不要輻射仕様、各種安全規格、含有物質についての表示も便宜的に翻訳して記載していますが、本書はその内容について保証するものではありません。

製品をお使いになるときは、英語版ユーザーマニュアルにも目を通し、その取扱方法に従い、正しく運用を行ってください。詳細な製品仕様については英語版ユーザーマニュアルの他、製品をお買い上げになった販売店または弊社テクニカルサポート窓口までお問い合わせください。

ATEN ジャパン株式会社

技術部

TEL :03-5615-5811

MAIL :support@atenjapan.jp

2017 年 10 月 25 日

V1.0 版

ユーザーの皆様へ

本マニュアルに記載された全ての情報、ドキュメンテーション、および製品仕様は、製造元である ATEN International により、予告無く変更されることがあります。製造元 ATEN International は、製品および本ドキュメントに関して、品質・機能・商品性および特定の目的に対する適合性について、法定上の、明示的または黙示的であるかを問わず、いかなる保証もいたしません。

弊社製品は一般的なコンピューターのメインフレームおよびインターフェースの操作・運用・管理を目的として設計・製造されております。高度な動作信頼性と安全性が求められる用途、例えば軍事使用、大規模輸送システムや交通インフラの制御、原子力発電所、セキュリティシステム、放送システム、医療システム等における可用性への要求を必ずしも満たすものではございません。

キーボード、マウス、モニター、コンピューター等、弊社製品に接続されるクライアントデバイスは、それぞれベンダの独自技術によって開発・製造されております。そのため、これらの異なるデバイスを接続した結果、予期できない機器同士の相性問題が発生する可能性があります。また、機器の併用により、それぞれオリジナルで持つ機能を全て発揮できない可能性があります。異なる環境・異なる機器の組み合わせにより、機能面での使用制限が必要になる可能性があります。

本製品および付属のソフトウェア、ドキュメントの使用によって発生した装置の破損・データの損失等の損害に関して、直接的・間接的・特殊な事例・付帯的または必然的であるかを問わず、弊社の損害賠償責任は本製品の代金相当額を超えないものとします。

製品をお使いになる際には、製品仕様に沿った適切な環境、特に電源仕様についてはご注意のうえ、正しくお使いください。

ATEN ジャパン製品保証規定

弊社の規定する標準製品保証は、定められた期間内に発生した製品の不具合に対して、すべてを無条件で保証するものではありません。製品保証を受けるためには、この『製品保証規定』およびユーザーマニュアルをお読みになり、記載された使用法および使用上の各種注意をお守りください。

また製品保証期間内であっても、次に挙げる例に該当する場合は製品保証の適用外となり、有償による修理対応といたしますのでご注意ください。

- ◆ 使用上の誤りによるもの
- ◆ 製品ご購入後の輸送中に発生した事故等によるもの
- ◆ ユーザーの手による修理または故意の改造が加えられたもの
- ◆ 購入日の証明ができず、製品に貼付されている銘板のシリアルナンバーも確認できないもの
- ◆ 車両、船舶、鉄道、航空機などに搭載されたもの
- ◆ 火災、地震、水害、落雷、その他天変地異、公害、戦争、テロリズム等の予期しない災害によって故障、破損したもの
- ◆ 日本国外で使用されたもの
- ◆ 日本国外で購入されたもの

【製品保証手順】

弊社の製品保証規定に従いユーザーが保証を申請する場合は、大変お手数ですが、以下の手順に従って弊社宛に連絡を行ってください。

(1) 不具合の確認

製品に不具合の疑いが発見された場合は、購入した販売店または弊社サポート窓口にご連絡の上、製品の状態を確認してください。この際、不具合の確認のため動作検証のご協力をお願いすることがあります。

(2) 本規定に基づく製品保証のご依頼

(1)に従い確認した結果、製品に不具合が認められた場合は、本規定に基づき製品保証対応を行います。製品保証対応のご依頼をされる場合は、RMA 申請フォームの必要項目にご記入の上、『お客様の製品購入日が証明できる書類』を用意して、購入した販売店までご連絡ください。販売店が不明な場合は、弊社までお問い合わせください。

(3) 製品の発送

不具合製品の発送は宅配便などの送付状の控えが残る方法で送付してください。

【製品保証期間】

製品保証期間は通常製品/液晶ディスプレイ搭載製品で異なります。詳細は下記をご覧ください。

①通常製品	製品納品日～30日	初期不良、新品交換※1
	31日～3年間	無償修理
	3年以上	有償修理※2
②型番 CL からはじまる LCD 搭載製品のみ	製品納品日～30日	初期不良、新品交換※1
	31日～2年間	無償修理
	3年目以降	有償修理※2

※1…製品購入日から30日以内に確認された不具合は初期不良とし、新品交換を行います。初期不良の場合の送料は往復弊社にて負担いたします。

※2…有償修理の金額は別途製品を購入された販売店までお問い合わせください。

※ケーブル類、その他レールキット等のアクセサリ類は初期不良の際の新品交換のみ、承ります。

※EOL (生産終了)が確定した製品については、初期不良であっても無償修理対応とさせていただきます。また EOL 製品の修理に関して、上記無償修理期間中であっても、部材調達の都合等により修理不可になる可能性がございます。そのような場合には、機能同等品による良品交換のご対応となる可能性がございます。また、EOL 製品の型番や、修理可否、後継機種については、随時情報更新を行っておりますので、弊社 Web ページにて最新情報をご確認ください。

※製品保証期間の延長や故障時の代替品などの保証オプションについては、弊社 Web ページをご確認ください。

【補足】

- ・本規定は ATEN 製品に限り適用します。
- ・ケーブル類は初期不良対応に準じます。
- ・初期不良による新品交換の場合は、ATEN より発送した代替品の到着後、5 営業日以内に不具合品を弊社宛に返却してください。返却の予定期日が守られない場合は弊社から督促を行いますが、それにも係わらず不具合品が返却されない場合は、代替機相当金を販売代理店経由でご請求いたします。
- ・ラベルの汚損や剥がれなどにより製品のシリアルナンバーが確認できない場合は、すべて有償修理とさせていただきます。

【免責事項】

1. 弊社製品は映像関連システムやコンピューターのメインフレームおよびインターフェースの操作・運用・管理を目的として設計・製造されております。しかし、使用環境等によってはその機能が制限されることがあります。弊社では、ご購入前に弊社製品をお試しいただける「評価機貸出サービス」を、無償でご提供しております。評価機貸出サービスに関するお問い合わせは、弊社代理店または弊社 Web サイト(<http://www.aten.com/jp/ja/>)内の「お問い合わせ」フォームをご利用ください。
2. キーボード、マウス、モニター、コンピューター等、弊社製品に接続されるクライアントデバイスは、それぞれベンダの独自技術によって開発・製造されております。そのため、これらの異なるデバイスを接続した結果、予期できない機器同士の相性問題が発生する可能性があります。また、機器の併用により、それぞれオリジナルで持つ機能を全て発揮できない可能性があります。異なる環境・異なる機器の組み合わせにより、機能面での使用制限が必要になる可能性があります。
3. 他社製品のKVMスイッチ、キーボード・マウスコンバーター、キーボード・マウスエミュレーター、KVM エクステンダー等との組み合わせはサポート対象外となりますが、お客様で自己検証の上であれば、使用を制限するものではありません。
4. 製品に対する保証は、日本国内で使用されている場合のみ対象とさせていただきます。
5. 製品やサービスについてご不明な点がある場合は、弊社技術部門までお問い合わせください。

製品についてのお問い合わせ

製品の仕様や使い方についてのお問い合わせは、下記窓口または製品をお買い上げになった販売店までご連絡ください。

購入前のお問い合わせ	ATEN ジャパン株式会社 営業部 TEL:03-5615-5810 MAIL:sales@atenjapan.jp
購入後のお問い合わせ	ATEN ジャパン株式会社 技術部 TEL :03-5615-5811 MAIL :support@atenjapan.jp

目次

ユーザーの皆様へ	i
ATEN ジャパン製品保証規定	ii
製品についてのお問い合わせ	v
EMC	2
RoHS.....	3
マニュアル表記について.....	4
RS-232 コマンドの操作	5
概要.....	5
セットアップ.....	5
ハードウェアの接続	5
コンソールログイン - ハイパーターミナル.....	6
RS-232 コマンド	8
実行コマンドの結果.....	8
リンクのオープン/クローズ.....	9
ポートの切替.....	10
ボーレートの設定	11
キーボード言語のレイアウト.....	12
ホットキーの設定	13
ホットキーの切替.....	14
USB のリセット.....	15
デフォルト設定のリストア	16
ファームウェアのアップグレード	17
KVM の状態	18
表示モード.....	19

EMC

FCC(連邦通信委員会)電波干渉声明

本製品は、FCC(米国連邦通信委員会)規則の Part15 に準拠したデジタル装置 Class B の制限事項を満たして設計され、検査されています。この制限事項は、本装置が一般家庭内で取り付けられたときに、有害な電波干渉が発生するのを防ぐために設計されています。無断で本装置を変更または改良した場合は、ユーザーの本装置を操作する権利は無効とみなされます。また、本装置は高周波エネルギーを使用し、発生させることがあります。この操作マニュアルに従わずに本装置を取り付け、使用した場合、電波通信に有害な障害を起こすことがあります。但し、定められた取り付け方法に従えば、必ず電波障害が起こらないと保証するものでもありません。本装置がラジオまたはテレビの電波受信に有害な障害となっているかどうかは、本装置の電源を入れたり、消したりして、確認してください。また、以下のひとつまたは複数の方法に従って、電波障害の状況を改善されることを推奨いたします。

- ◆ 受信アンテナの向きを変えるか、位置を変えてください。
- ◆ 本装置と受信機の距離を離してください。
- ◆ 受信機が接続されているコンセントと異なる電気回路に本装置のコンセントを差し込んでください。
- ◆ 販売店または、十分な経験を有するラジオ/テレビの技術者にお問い合わせください。

本製品は、FCC(米国連邦通信委員会)規則の Part15 の規定に準拠しています。動作は次の2つの条件を前提としています。

- (1) 本製品による有害な干渉が発生しない。
- (2) 本製品は、予想外の動作を引き起こす可能性のある干渉を含め、受信した干渉をすべて受け入れる。

FCC による注意: 本コンプライアンスに対する責任者による明確な承認を得ていない変更または改良を行った場合は、ユーザーの本装置を操作する権利を無効とします。

RoHS

本製品は『電気・電子機器に含まれる特定有害物質の使用制限に関する欧州議会及び理事会指令』、通称 RoHS 指令に準拠しております。



マニュアル表記について

[] 入力するキーを示します。例えば[Enter]はエンターキーを押します。複数のキーを同時に押す場合は、[Ctrl] + [Alt]のように表記してあります。

1. 番号が付けられている場合は、番号に従って操作を行ってください。

◆ ◆印は情報を示しますが、作業の手順を意味するものではありません。

→ 矢印は操作の手順を示します。例えばStart → Runはスタートメニューを開き、Runを選択することを意味します。



重要な情報を示しています。

※本マニュアルに記載されている商品名・会社名等は、各社の商標ならびに登録商標です。

RS-232 コマンドの操作

概要

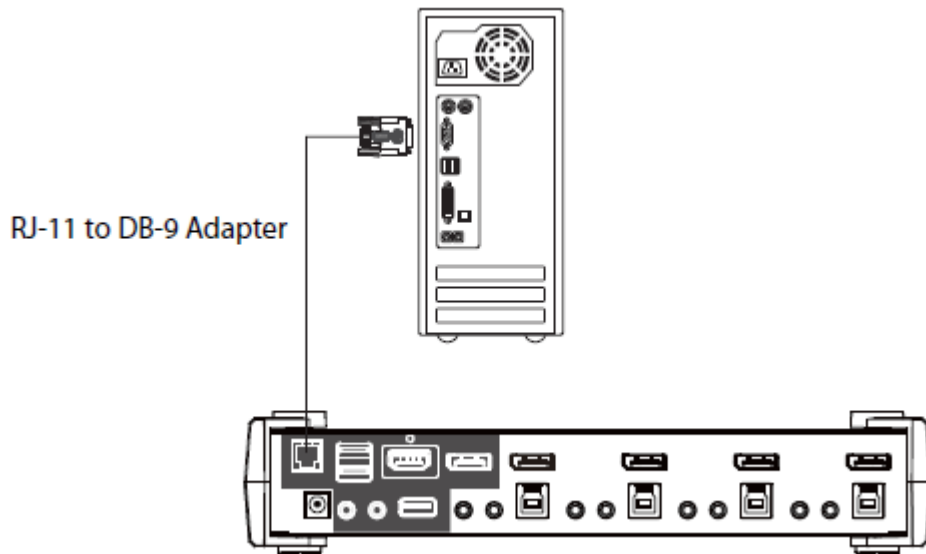
USB 3.0 ハブ搭載 DCI 4K 対応 2/4 ポート USB DisplayPort MST KVMP™スイッチ CS1922M/CS1924M は、双方向対応 RS-232 シリアルインターフェースを搭載しているため、シリアルリモートコントローラーやコンピューターを通じてシステムの制御を行うことができます。CS1922M/CS1924M での RS-232 シリアル制御は、Windows 搭載コンピューターで動作するハイパーターミナル等のセッションを介して管理することができます。この RS-232 コマンドを使用するには、まず、ハイパーターミナル等のアプリケーションをダウンロードし、インストールする必要があります。このマニュアルにおける各コマンドに関する詳細および使用方法については、CS1922M/CS1924M のユーザーマニュアル本編にてご確認ください。

セットアップ

CS1922M/CS1924M の配下で使用されていないコンピューターに、ハイパーターミナル等のアプリケーションをインストールしてください。RS-232 コマンドによる CS1922M/CS1924M の制御は、このコンピューターから行います。ハイパーターミナル等のアプリケーションは、インターネットからダウンロードすることができます。

ハードウェアの接続

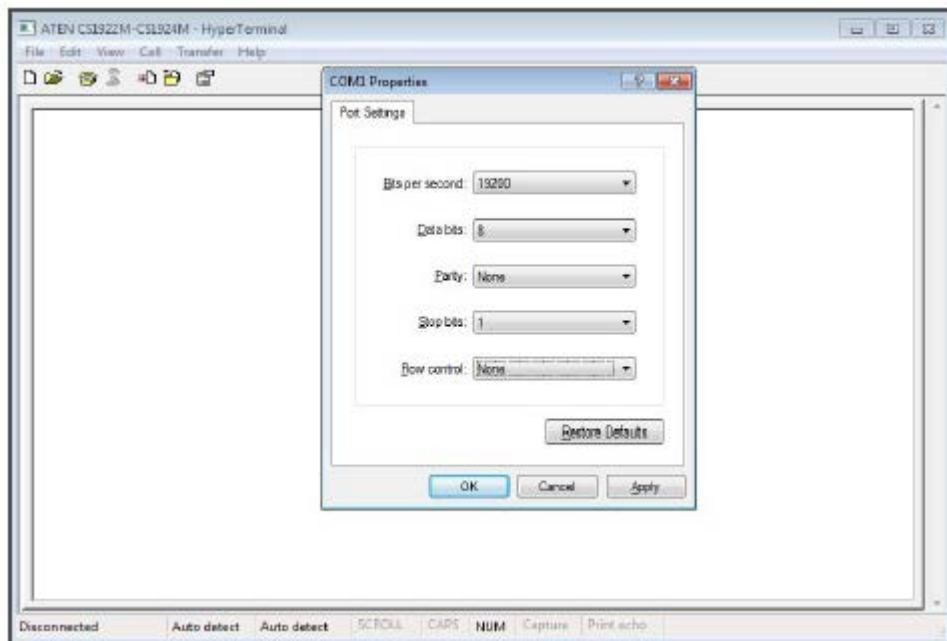
RJ-11⇒DB-9 シリアルアダプターを使って、下図を参考にしながら、コンピューターのシリアルポートと CS1922M/CS1924M のシリアルポートを接続してください。



コンソールログイン - ハイパーターミナル

コンピューターと CS1922M/CS1924M が物理的に接続されると、下記の手順でハイパーターミナルのセッションを確立することができます。

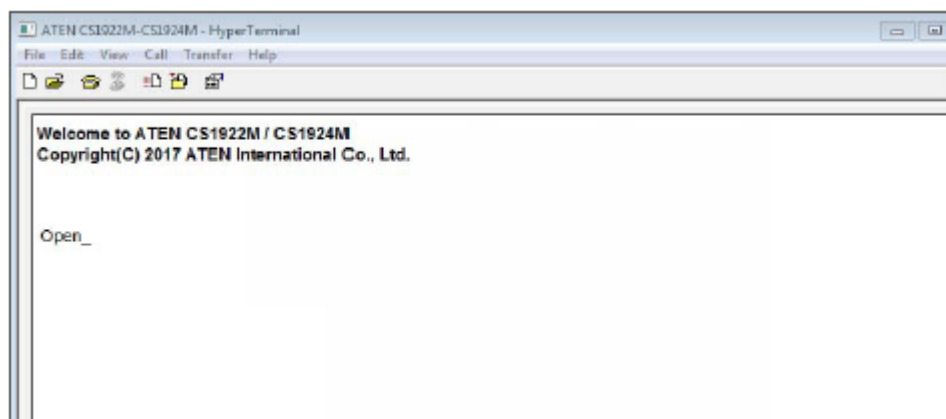
1. ハイパーターミナルのアプリケーションを起動したら、適切な COM 1 ポートの値に合わせてポートの設定を行い、「OK」をクリックしてください。



ボーレート:19200、データビット:8、パリティ:None(なし)、ストップビット:1、フロー制御:None(なし)

2. ポートの設定が終わったら、次のコマンドを入力して、CS1922M/CS1924M のシリアル制御を有効にしてください。

open + [Enter]



RS-232 コマンド

ハイパーターミナル経由でログイン (p.6 参照) したら、コンピューターから CS1922M/CS1924M を制御できるように、これから説明する方法で RS-232 コマンドを実行してください。

open + [Enter] コマンドを使って RS-232 制御が有効になると、シリアル接続がクローズするまで、CS1922M/CS1924M のフロントパネルのボタンからの操作、および (マウスカーソルの移動およびモニターレイアウトの各ホットキーを除いた) ホットキー操作は無効となります。

下記の RS-232 コマンドに関する詳細については、CS1922M/CS1924M のユーザーマニュアル本編にてご確認ください。

実行コマンドの結果

コマンドが送信されると、次のような応答メッセージがコマンドラインの最後に返ってきます。

応答メッセージ	説明
Command OK	コマンドやパラメーターは正確です。
Command incorrect	コマンドやパラメーターが誤っています。

注意: ターミナルソフトウェアの改行コード送信設定は、「CR+LF」にしてください。

この後に本セクションで説明される各コマンドを実行する際には、下記の点にご注意ください。

- ◆ コマンド文字列は、それぞれスペースで区切ってください。
- ◆ [Enter] コマンドは、ASCII コード「0x0D0A」に置き換えることもできます。

リンクのオープン/クローズ

「open」と「close」の各コマンドは、RS-232 コマンドを送信するコンピューターと CS1922M/CS1924M との間におけるリンクを、それぞれ開始したり終了したりすることができます。リンクがオープンすると、CS1922M/CS1924M はシリアル接続をクローズするまで RS-232 コマンド以外を受け付けなくなり、フロントパネルのプッシュボタン操作やホットキー入力(マウスカーソルの移動およびモニターレイアウトの各ホットキーを除く)には反応しなくなります。リンクは open コマンドの実行で開始し、close コマンドの実行で終了します。なお、close コマンドが送信されなかった場合は、open コマンドが送信された 2 分後にリンクが終了します。デフォルト値は close です。

次の構文を使ってパラメーターを設定し、コマンドを実行してください。

構文:

コマンド+[Enter]

パラメーター:

コマンド	説明
open	RS-232 リンクをオープンします。
close	RS-232 リンクをクローズします。

Enter	説明
[Enter]	コマンドを入力して送信します。

open/close コマンド

RS-232 リンクをオープン/クローズする open/close コマンドは次の構文を使用します。

1. コマンド+[Enter]

例えば、コンピューターと CS1922M/CS1924M の間で RS-232 リンクをオープンするには、次を入力してください。

open [Enter]

2. コマンド+[Enter]

例えば、コンピューターと CS1922M/CS1924M の間における RS-232 リンクをクローズするには、次を入力してください。

close [Enter]

ポートの切替

sw コマンドを使うと、CS1922M/CS1924M に接続されたコンピューターを切り替えます。デフォルトではポート 01 に設定されています。

次の構文を使ってパラメーターを設定し、コマンドを実行してください。

構文:

コマンド+操作+[Enter]

パラメーター:

コマンド	説明
sw	ポートを切り替えます。

操作	説明
ixx	入力ポート番号 $x = 01 \sim 04$ (デフォルト:01) 例:i02

Enter	説明
[Enter]	コマンドを入力して送信します。

sw コマンド

ポート切替を行う sw コマンドは次の構文を使用します。

1. コマンド+操作+[Enter]

例えば、ポート 02 に接続されているコンピューターに切り替えるには、次を入力してください。

sw i02 [Enter]

注意: 操作のコマンド文字列は省略することができます。この場合は、デフォルト値が使用されます。

ボーレートの設定

baud コマンドを使うと、シリアルポート接続に使用するボーレートを設定することができます。デフォルトでは 19200 に設定されています。

構文:

コマンド+操作+[Enter]

パラメーター:

コマンド	説明
baud	ボーレートを設定します。

操作	説明
19200	ボーレートを 19200 に設定します。
38400	ボーレートを 38400 に設定します。
9600	ボーレートを 9600 に設定します。

Enter	説明
[Enter]	コマンドを入力して送信します。

baud コマンド

ボーレートの設定を行う baud コマンドは次の構文を使用します。

1. コマンド+操作+[Enter]

例えば、ボーレートを 19200 に設定するには、次を入力してください。

baud 19200 [Enter]

キーボード言語のレイアウト

layout コマンドを使うと、キーボード言語のレイアウトを変更することができます。デフォルトでは英語に設定されています。

次の構文を使ってパラメーターを設定し、コマンドを実行してください。

構文:

コマンド+操作+[Enter]

パラメーター:

コマンド	説明
layout	キーボード言語のレイアウトを変更します。

操作	説明
en	キーボード言語レイアウトを英語に変更します。
fr	キーボード言語レイアウトをフランス語に変更します。
jp	キーボード言語レイアウトを日本語に変更します。
ge	キーボード言語レイアウトをドイツ語に変更します。

Enter	説明
[Enter]	コマンドを入力して送信します。

layout コマンド

キーボード言語のレイアウトを変更する layout コマンドは次の構文を使用します。

1. コマンド+操作+[Enter]

例えば、キーボード言語レイアウトを日本語に変更するには、次を入力してください。

layout jp [Enter]

2. コマンド+操作+[Enter]

例えば、キーボード言語レイアウトをフランス語に変更するには、次を入力してください。

layout fr [Enter]

ホットキーの設定

このコマンドを使うと、ホットキーセッティングモード(HSM)の起動に使われるホットキーを変更することができます。デフォルトでは[Num Lock] + [-]に設定されています。

次の構文を使ってパラメーターを設定し、コマンドを実行してください。

構文:

コマンド+操作+[Enter]

パラメーター:

コマンド	説明
hotkey	ホットキーセッティングモード(HSM)の起動に使用されるホットキーを設定します。

操作	説明
num	HSMを起動するキーを [Num Lock] + [-] に変更します。
f12	HSMを起動するキーを [Ctrl] + [F12] に変更します。

Enter	説明
[Enter]	コマンドを入力して送信します。

hotkey コマンド

ホットキーセッティングモード(HSM)の起動用ホットキーを変更する hotkey コマンドは次の構文を使用します。

1. コマンド+操作+[Enter]

例えば、HSMの起動キーを [Num Lock] + [-] に変更するには、次を入力してください。

hotkey num [Enter]

2. コマンド+操作+[Enter]

例えば、HSMの起動キーを[Ctrl] + [F12]に変更するには、次を入力してください。

hotkey f12 [Enter]

ホットキーの切替

switch コマンドを使うと、切替に使用されるホットキーを変更することができます。デフォルトでは [Scroll Lock] [Scroll Lock] に設定されています。

次の構文を使ってパラメーターを設定し、コマンドを実行してください。

構文:

コマンド + 操作 + [Enter]

パラメーター:

コマンド	説明
switch	切替用ホットキーを変更します。

操作	説明
scroll	切替用ホットキーを [Scroll Lock] [Scroll Lock] に変更します。
ctrl	切替用ホットキーを [Ctrl] [Ctrl] に変更します。

Enter	説明
[Enter]	コマンドを入力して送信します。

switch コマンド

切替用ホットキーを変更する switch コマンドでは次の構文を使用します。

コマンド + 操作 + [Enter]

1. コマンド + 操作 + [Enter]

例えば、切替用ホットキーを [Scroll Lock] [Scroll Lock] に変更するには、次を入力してください。

switch scroll [Enter]

2. コマンド + 操作 + [Enter]

例えば、切替用ホットキーを [Ctrl] [Ctrl] に変更するには、次を入力してください。

switch ctrl [Enter]

USBのリセット

usbreset コマンドを使うと、USB 接続をリセットすることができます。デフォルトでは USB リセットの設定は OFF になっています。

次の構文を使ってパラメーターを設定し、コマンドを実行してください。

構文:

コマンド+操作+[Enter]

パラメーター:

コマンド	説明
usbreset	USB 接続をリセットします。

操作	説明
on	USB 接続のリセットを有効にします。

Enter	説明
[Enter]	コマンドを入力して送信します。

usbreset コマンド

USB 接続をリセットする usbreset コマンドでは次の構文を使用します。

1. コマンド+操作+[Enter]

例えば、USB 接続をリセットするには、次を入力してください。

usbreset on [Enter]

デフォルト設定のリストア

reset コマンドを使うと、CS1922M/CS1924M におけるすべての設定をリセットし、デフォルトの設定に戻すことができます。デフォルトでは、この設定は OFF になっています。

次の構文を使ってパラメーターを設定し、コマンドを実行してください。

構文:

コマンド+操作+[Enter]

パラメーター:

コマンド	説明
reset	デフォルトの設定をリストアします。

操作	説明
on	デフォルト値のリストアを有効にします。

Enter	説明
[Enter]	コマンドを入力して送信します。

reset コマンド

デフォルトの設定をリストアする reset コマンドでは次の構文を使用します。

1. コマンド+操作+[Enter]

例えば、CS1922M/CS1924M におけるすべての設定をリセットし、デフォルト値を復元するには、次を入力してください。

reset on [Enter]

ファームウェアのアップグレード

upgrade コマンドを使うと、ファームウェアアップグレードモードを有効にすることができます。デフォルトでは、この設定は OFF になっています。

次の構文を使ってパラメーターを設定し、コマンドを実行してください。

構文:

コマンド+操作+[Enter]

パラメーター:

コマンド	説明
upgrade	ファームウェアをアップグレードします。

操作	説明
on	ファームウェアアップグレードモードを有効にします。

Enter	説明
[Enter]	コマンドを入力して送信します。

upgrade コマンド

ファームウェアのアップグレードを行う upgrade コマンドでは次の構文を使用します。

1. コマンド+操作+[Enter]

例えば、ファームウェアアップグレードモードを有効にするには、次を入力してください。

upgrade on [Enter]

注意: ファームウェアの書き込みは CS1922M/CS1924M の CPU 側の USB ポートから行います。詳細の手順は別冊のユーザーマニュアルをご確認ください。

KVM の状態

status コマンドを使うと、CS1922M/CS1924M における現在の設定状況に関する情報を読み取り専用で表示します。デフォルトでは、この設定は OFF になっています。

次の構文を使ってパラメーターを設定し、コマンドを実行してください。

構文:

コマンド+操作+[Enter]

パラメーター:

コマンド	説明
status	KVM の状態を表示します。

操作	説明
on	KVM の状態表示を有効にします。

Enter	説明
[Enter]	コマンドを入力して送信します。

status コマンド

KVM の状態を表示する status コマンドでは次の構文を使用します。

1. コマンド+操作+[Enter]

例えば、CS1922M/CS1924M の設定内容を表示するには、次を入力してください。

status on [Enter]

そうすると、次のようなメッセージが表示されます。

hotkey: [numlock] + [-] / [scrolllock], [scrolllock]

os setting: pc

keyboard emulation: enabled/disabled

keyboard layout: English

mouse emulation: enabled/disabled

monitor re-detection: enabled/disabled

表示モード

display コマンドを使うと、CS1922M/CS1924M に接続されたモニターの設定に SST モードと MST モードのどちらを使うかを選択することができます。

次の構文を使ってパラメーターを設定し、コマンドを実行してください。

構文:

コマンド+操作+[Enter]

パラメーター:

コマンド	説明
display	表示モードを変更します。

操作	説明
sst	SST (シングルストリームトランスポート) モードを使用するように設定します。
mst	MST (マルチストリームトランスポート) モードを使用するように設定します。

Enter	説明
[Enter]	コマンドを入力して送信します。

display コマンド

表示モードを変更する display コマンドでは次の構文を使用します。

1. コマンド+操作+[Enter]

例えば、CS1922M/CS1924M が SST モードを使用するように設定するには、次を入力してください。

```
display sst [Enter]
```

2. コマンド+操作+[Enter]

例えば、CS1922M/CS1924M が MST モードを使用するように設定するには、次を入力してください。

```
display mst [Enter]
```